

マダニによる感染症にご注意ください！

福祉人權課 73-4313

6/27 海陽町内において、今年に入り初めて、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者1名の発生が確認されました。

「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」は、SFTS ウイルスを保有するマダニに刺咬されることで感染するとされており、発症すると重症化することもあるため注意が必要です。

なお、マダニは、春から秋（3月から11月頃）にかけてが活動期であり、今後も患者発生の可能性がありますので、草むらや山に入るときは予防を徹底してください。

1. マダニの生息場所



マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。

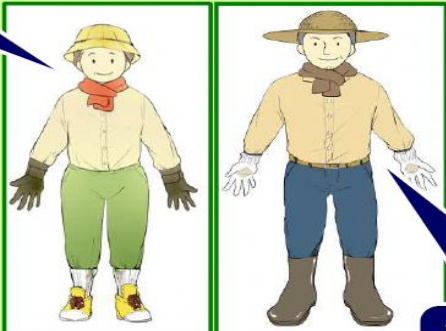


マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。

2. マダニから身を守る服装

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

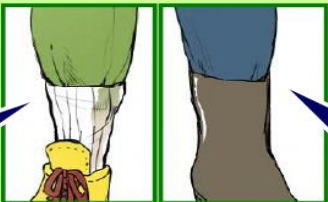


シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。



シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。

ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。



農作業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。